

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果(花園小学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語	算数
花園小	65	66
埼玉県(公立)	65	69
全国(公立)	64.7	70.2

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	花園小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	99.1	95.5	94.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	82.4	83.2	81.2
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	92.6	91.4	90.4
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	13.9	13.9	14.8
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	81.5	76.1	74.0
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	87	81.6	78.3
	5年生までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	83.3	81.9	78.2
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	61.1	65.0	62.5
教科への関心	国語の勉強は好きだ	61.1	57.9	58.4
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	88.8	91.6	91.8
	算数の勉強は好きだ	73.2	66.8	67.8
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	91.6	92.4	92.6
その他	自分には、よいところがあると思う	76.9	78.0	76.9
	将来の夢や目標をもっている	84.2	81.4	80.3
	人の役に立つ人間になりたいと思う	92.6	94.9	95.5
	今住んでいる地域の行事に参加している	64.8	57.1	58.1

花園小の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】(数字)は正答率, 全国比 いずれも%

- 3二 文章の下書きの構成の一部を他者の話を用いて詳しく書き直す。(61. 1, +4. 5)
- 1三 津田梅子についての【スピーチ】の練習で, 資料を使った理由の説明として適切なものを選択する。(83. 3, +2. 3)
- 2一 面ファスナーに関する資料の文章の説明として適切なものを選択する。(79. 6, +2)
- 3三 漢字を文の中で正しく使う。「原因」(68. 5, -10. 5)
- 2四 面ファスナーがどのように使われているかまとめて書く。(24. 1, -5. 6)
- 1一 津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために, 【スピーチ】と【メモ】の構成の説明として適切なものを選択する。(70. 4, -7. 1)

【算数】(数字)は正答率, 全国比 いずれも%

- 学年ごとの貸出し冊数について棒グラフから分かることを選ぶ。(96. 4, +4. 7)
- 8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める。(56. 5, +1)
- 2(1) 直角三角形の面積を求める。(33. 3, -19. 8)
- 4(3) 30メートルを1としたときに12mが0. 4にあたるわけを書く。(49. 1, -12. 4)
- 3(4) 帯グラフから割合の違いが一番大きい項目を選ぶ。(42. 6, -9. 4)
- 1(1) 2つのコースの道のりの差の求め方を書く。(56. 5, -6)
- 2(2) 直角三角形を組み合わせた図形の面積の求め方を選ぶ。(65. 7, -6. 8)

【質問紙】抜粋された質問項目の検証から

- 「生活習慣」および「学習習慣」では, それぞれ4項目中3項目で県と全国を上回っている。特に朝食摂取率や学習内容の見直しの項目が高い。
- 将来の夢や目標をもっている児童や地域の行事に参加していると答えた児童の割合が高い。
- 国語や算数の学習が将来役に立つと考えている県や全国と比べて低い。
- 人の役に立つ人間になりたいと考えている児童の割合がやや低い。

課題への取組・改善策

【国語】

- ◇学校研究課題「国語科における表現力を高める研究」に基づき, 授業や学力アップタイムにおいて文章を書く場面(回数)を増やすとともに, 「物語文・説明文の手引き」を授業で活用する。
- ◇発達段階に即して基本的な文型のものから始め, スモールステップで目的や相手を意識して多様な文章を書けるようにする。国語以外の教科の学習においても計画的に設定する。
- ◇読書月間をはじめとした意図的な図書室(図書館)の利用などによる読書量の増加, コラム学習や視写, 暗唱など全校での取組を検討し, 実施可能なものから始めていく。

【算数】

- ◇基礎的基本的な計算技能の習熟と維持を図るために, 学習する学年以降も適宜反復練習の機会を設け, 継続して指導する。
- ◇花園小授業スタンダードに基づく授業展開を校内で実施するとともに, 授業の中で必ず自分の考えを記述したり, 説明したりする時間を設け, 根拠を伴って考えを表現できるようにする。
- ◇基準量, 比較量, 割合の関係を, 数直線を使った図やグラフに表すなど, 数量の関係をとらえる活動の充実を図る。

【その他】

- ◇深谷市授業スタンダード(めあて, 見通し, 振り返り)を活用した授業展開および逆向き設定による授業構想・教材研究を行う。
- ◇基本的な生活習慣のさらなる徹底を図るために各種たよりなどで家庭へ啓発する。